

44期生の言葉

誓いの言葉

春の暖かな日差しが感じられるこの良き日、私たち三百六十七名は埼玉県立所沢北高等学校に入学いたしました。部活動が活発で、加えて勉学にも励むことができる、この所沢北高校を目指して、私たちは全力で勉強に励んでまいりました。自分の受験番号を見つけ、それまでの努力が実ったことがわかったときには、喜びもひとしおであり、今日この日を迎えられることを大変うれしく思います。

今、私たちの胸の中には、これから始まる高校生活への期待や不安など、さまざまな感情が渦巻いておりますが、所沢北高校に入学できたことを誇りに思い、努力を忘れずに生活をして参ります。

今、全世界では6300万人を超える人々が紛争等で国を追われ、難民生活を余儀なくされています。また、日常的に貧困や、テロの脅威など、命の危機にさらされながら生活している人々も数多くいます。恵まれた生活を送っている我々は、それがどれほど辛く、悲しいことなのか、想像もできません。

私たちは今、平和で恵まれた環境で生活できていることに感謝する必要がありますし、また、その分重い責任があると思います。それは日々を無駄にせず、充実させ、社会に貢献できる道を模索する責任です。そのために、私たち全員が、覚悟、自覚を持って生活することが不可欠でしょう。三年間、何事にも全力で取り組み、1日1日を大切に過ごしていく姿勢は崩さずまいりたいと思います。

これから始まる高校生活の中で、辛いこと、苦しいことも少なからず出てくることでしょう。そんなときは、今日、共に入学した仲間と助け合いながら、また、先生方、先輩方から力を貸していただきながら、どんな難題も打ち砕き、自己を研鑽し、所沢北高校の更なる発展に貢献すべく、不断の努力をしていくことをここに誓います。

平成29年4月7日 新入生代表

対面式挨拶

今日は、私たち新入生のために対面式を開いてくださり、ありがとうございます。私たち新入生367名は義務教育の過程を終え、自分の意志で選択した新たな道を歩み始めました。受験という大きな壁を乗り越えた今、憧れであったこの所沢北高等学校での生活に胸を膨らませています。諸先生方のご指導のもと、先輩の背中を追い、所沢北高等学校の生徒として充実した高校生活を送れるように努力していきます。また、先輩方が築き上げてきた「文武両道」の伝統を私たちが受け継ぐべく、勉強・部活動に励んでいきます。

新たなスタートに期待を寄せる一方で、中学校の内容よりレベルアップした勉強・部活動の練習についていけるかという不安な気持ちもあります。しかし、不安を抱くのは、これからの高校生活に期待を募らせ、頑張りたいと意識しているからだと思います。「所北プライドプログラム」という所沢北高等学校の理念のように、今抱いている不安を誇りに変えられるよう、有意義な日々を送ってまいります。また、4月16日・17日の「所北セミナー」でこの学校についての知識を深めると共に、協力し合える仲間をつくり、これから始まる高校生活で心に残る思い出をたくさんつくっていききたいと思います。

入学までにいくつかの課題が出ました。その中には「サイエンスに関する新書を読んで要約と感想をまとめ、のちの授業でビブリオバトルを行う」というものがありました。今までにない課題に戸惑いつつも、どきどきわくわくしながら取り組みました。学ぶことによって得た力は、将来の大きな支えになると思います。これから歩む道の選択肢を広げるためにも、一生懸命学習してまいります。

新しい高校生活に慣れるまで、先輩・諸先生方にご迷惑をおかけすることも多いと思いますが、行事や生徒会活動・委員会などを通して、少しでも学校に貢献できるよう頑張ります。未熟な私たちですが、温かく見守っていただけるとうれしいです。第44期・新入生一同、どうぞよろしく願いいたします。

平成29年4月10日 新入生代表